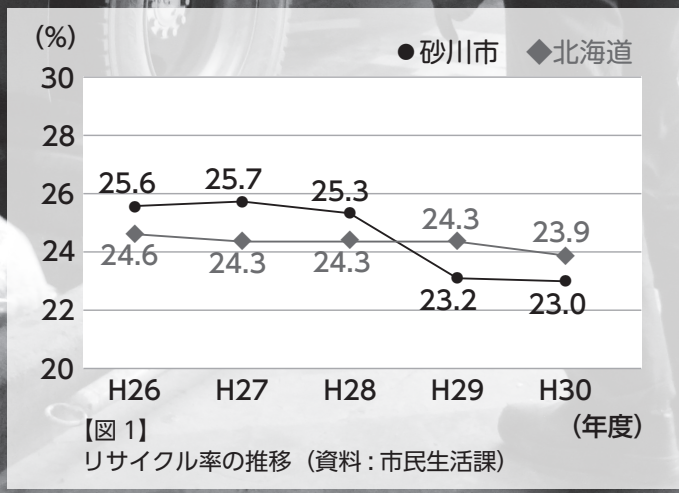
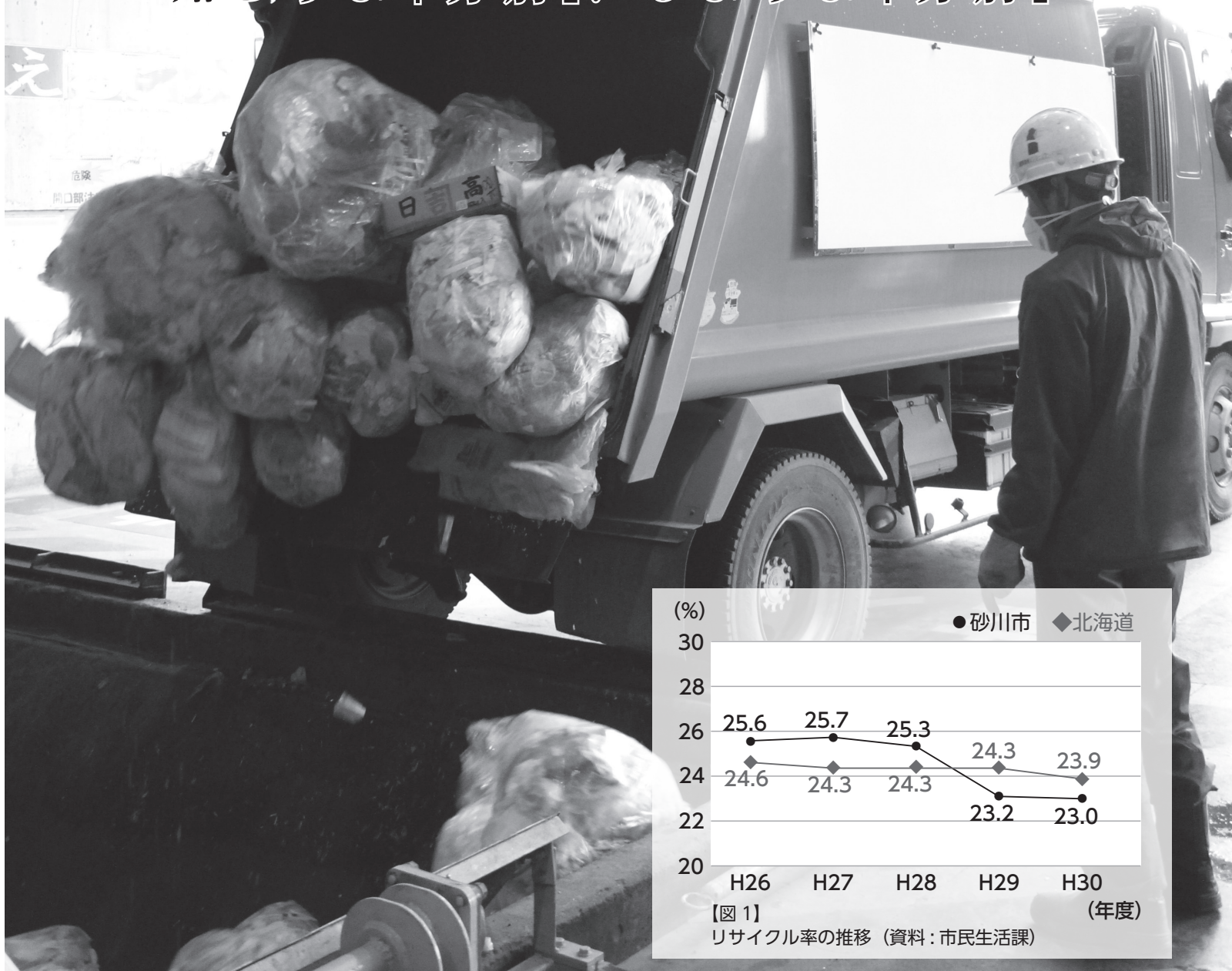


「分別」って、なぜするの？

～ 知ろうよ「分別」、しようよ「分別」～



私たちが生活する中でごみは必ず出てしまいます。砂川市では年間6千t以上の一般廃棄物(住民が出したごみ)が排出されています。人口の減少に伴い、その総量は減りつつありますが、市民1人1日当たりのごみの排出量は1kgを超え、全道平均を上回っていることに加え、リサイクル率も下がっています(図1)。

ごみの排出量自体を減らしていく取り組みや努力をしていくことも重要ですが、これと同時に、ごみとして処分される量を減らすために、リサイクルできるものはリサイクルしていく必要があります。

クリーンプラザくるくるでは、2市3町(砂川市、奈井江町、浦臼町、歌志内市、上砂川町)で発生する一般廃棄物の中間処理を行い、再生処理工場や古物商などへ搬出しています。

リサイクルをするために重要なことはごみを正しく分別することですが、分別されていないごみの搬入が依然として多くあります。正しく分別ができていないと、ごみ処理施設の設備が損傷し、ごみの処理が止まってしまっただけでなく、設備の修繕費用がかかってしまうこともあります。また、作業員がごみを分別し直す際の作業効率が低下する分、コストがかかるため、場合によってはごみ処理委託費用の増加ということになってしまいます。これらは税金から支払われるため、結果的に市民の皆さんの負担になってしまいます。

今回の特集では、分別の重要性について紹介します。「分別」について、一緒に考えていきましょう。

分別を正しく行わないと…

ごみ処理設備が早く損傷してしまう

異物が混ざっている状態でそのまま処理してしまうと、ごみ処理設備が予想している年数よりも早くに損傷してしまう可能性があります。

クリーンプラザくるくるでは2市3町(砂川市、奈井江町、浦臼町、歌志内市、上砂川町)で発生する一般廃棄物の中間処理を行っているのですが、設備が損傷してしまうと、これらすべてのごみの処理が止まってしまう、市民の皆さんがごみを出せなくなってしまうかもしれません。



作業員の負担が増える



▶不燃ごみの選別



▶缶、びん、ペットボトルの選別



▶手作業でキャップを外します

クリーンプラザくるくるでは現在23人の作業員が働いていますが、1日に勤務しているのは6、7人ほどです。少人数で大量のごみの処理を行っています。

粗大不燃ごみや缶、びん、ペットボトルは異物を除去したのち、それぞれ手で選別されます。ペットボトルはキャップがついたままのものも多く、手作業で外します。中には危険なものが混ざっている場合もあり、作業員がけがをしてしまうこともあります。

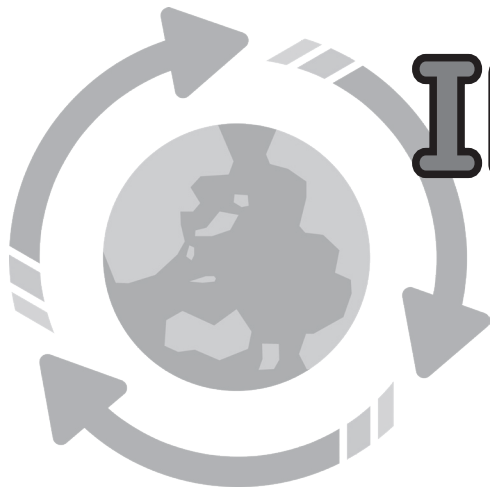
市民の皆さんに多く負担がかかる場合がある

ごみ処理に必要な費用には税金が使われます。上で紹介した「ごみ処理設備が早く損傷してしまう」「作業員の負担が増える」も実は関係があります。分別がされていないことによる作業効率の低下は、ごみ処理業務委託費用に関わります。また、ごみ処理設備が損傷した場合は修繕費用がかかります。

ごみを処理したり、分別し直したりするためにはたくさんのお金がかかり、それらは結果的に市民の皆さんの負担になってしまいます。



次のページから現場の声を紹介します



INTERVIEW

～インタビュー～

皆さんが捨てたごみの分別状況やごみを捨てるうえで皆さんに守ってほしいこと、なぜ分別することが重要なのかということについて、くるくるのごみ処理業務を請け負っている鹿島環境エンジニアリング株式会社の吉田所長にお話を伺いました。



鹿島環境エンジニアリング株式会社 北海道支店 砂川クリーンプラザ事業所

鴨野さん (左)、吉田所長 (中央)、赤澤さん (右)

分別に対する意識の変化が広がれば

鹿島環境エンジニアリング株式会社 北海道支店
砂川クリーンプラザ事業所 吉田直弘所長

分別は大切な作業

皆さんが出しているごみの分別状況ですが、正直なところ100%完璧ではありません。資源ごみの中に石やかみそり、工具などの異物が混ざっていたり、危険ごみに出さなければならぬガスのスプレー缶の中身がまだ残ったまま燃やせないごみに混ざっていたりなどがよくあります。また、燃やせないごみと燃やせるごみの分別の間違いも多いです。

くるくるではごみの種類ごとに処理するレーンが分かれています。各レーンはそれぞれ決まったごみを処理することを想定して作られているので、分別が不十分で異物が混ざっていると、スクリューが刃こぼれしたり、ベルトコンベヤーが故障したりするなど、施設の損傷につながります。施設が損傷してしまうとごみを処理することができなくなってしまいます。さらに、危険なものが入れられていると、作業員が手で選別する際にけがをしてしまうかもしれません。こうしたことを防ぐためにも、よりきちんとした分別が大切だとわかってもらえると嬉しいですね。

分別は施設を機能的・継続的に使用していく中で重要なことです。円滑に気持ちよくこの施設を使ってもらえるように、決められたルールを皆さんにきちんと守ってもらうことが施設の延命化や保全につながります。今一度、市で出

保健衛生組合からのお願い



不十分な分別が他市町に迷惑をかけてしまいます！！

燃やせるごみに不燃ごみが混ざって捨てられていることがよくあります。燃やせるごみはくるくるに集められた後、歌志内市のエネクリーンへ運搬され、焼却処理されます。その際に不燃ごみが混ざっていると、焼却設備が損傷してしまう場合があります。エネクリーンでは砂川地区の2市3町のごみだけでなく、滝川地区（滝川市、赤平市、新十津川町、雨竜町）と深川地区（深川市、妹背牛町、秩父別町、沼田町、北竜町）の可燃ごみの処理も行っているのです。機械が壊れてしまうとこれらすべてのごみの処理が止まってしまいます。徹底した分別をお願いします。

ペットボトルのキャップとラベルは外して可燃ごみへ！ 本体はつぶさずに資源ごみへ！

くるくるに集められたペットボトルは中間処理を行った後、容器包装リサイクル協会の再資源化工場に買い取られ、リサイクルされます。売却で得た収入はごみ処理費用の一部に回すことができるので、その分の税金を減らすことができます。キャップとラベルが付いたままのペットボトルは、それらを外す手間がかかってしまう分、買い取り額は安くなります。買い取り額が安いと収入が減るので、結果的に市民の皆さんの負担になってしまいます。

▶分別ができていなかった例



①燃やせるごみや生ごみの中に石や金属類、陶磁器の混入



②資源ごみの中にスプレー缶や金属類、ガラスの混入

危険なものも混ざっている！これを手作業で仕分けるなんて…！



分別する意識を定着させるには？

している『ごみ分別辞典』や砂川市公式LINEアカウントでのごみの分別検索を確認し、分別にご理解とご協力いただきたいです。調べても分別のしかたがわからないごみについては、勝手に判断せずに市に問い合わせてもらいたいと思います。

人に言われてやるのではなく、自分たちが理解・納得した中で進める行動は継続的なものになります。家庭の中でごみを分別する意識を定着させていくには、工夫や楽しさが必要だと思えます。例えば、家庭で日頃からごみの話をすることで、「これは何ごみだろう?」とゲーム感覚でやってみようなど、生活の中で楽しみながら学んでいくことがやはり大切なのではないのでしょうか。

くるくるに見学に来たお子さんが見学で聞いた話を家族に伝えて、家族の意識が変わったと言っていたこともありますが、そうした意識が変化することの積み重ねが大切だと思います。家庭の中でできるようなれば、隣の家、学校、地域とどんどん意識の変化が広がってきます。やがては近隣のまちが「うちも砂川市に負けないようにしよう」と、いい意味で「競争」、別な表現で言えば「共生」、互いに協力し合っているところを発揮していくようになればと思います。



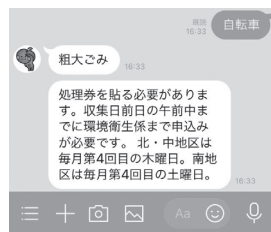
一人ひとりが分別のルールを守ること
 リサイクルに貢献できます。
 この機会にごみの分別を見直しませんか？



分別のしかたがわからないときは『ごみ分別辞典』や市ホームページ、[砂川市公式 LINE アカウント](#)のごみ分別検索・ごみ収集日の定期配信を活用してください。



市ホームページ



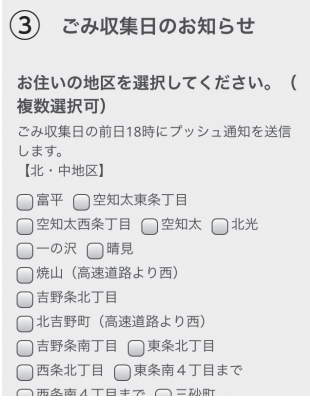
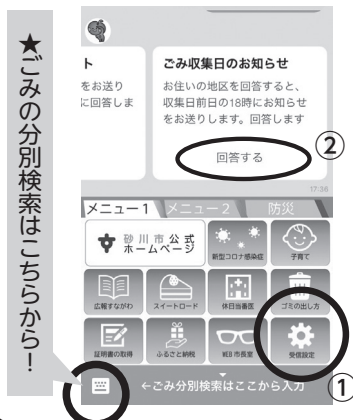
砂川市公式 LINE アカウント
ごみの分別検索

★捨てたいものをメッセージに入力して送信すると、捨て方を教えてください。

▶ごみ収集日の定期配信 受信方法

☆登録するとごみ収集日の前日 18:00 にプッシュ通知が送信されます！

(粗大ごみを除く)



- ① 「メニュー1」の「受信設定」をタップする
- ② 「ごみ収集日のお知らせ」の「回答する」をタップする
- ③ 回答画面でお住まいの地区にチェックをつける
- ④ 回答を送信する

分別に関すること 環境衛生係Tel 54-2121

クリーンプラザくるくるに関すること 砂川地区保健衛生組合Tel 53-5353